

1年 技術・家庭科(技術分野) シラバス

1. 技術・家庭科の目標

生活の営みに係わる見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し、創造する資質・能力を育む。

2. 技術分野で重視することがら

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、生物育成、エネルギー変換及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

3. 学力を向上させる方法

- (1) 生活や産業の中での技術の役割について考える。
 - ・昔と今を比較し、どんなところが便利になったのかを考えましょう。
 - ・自然や環境に対する影響はどのようなものがあるのかを考えましょう。
- (2) 身近な生活に役立つものの製作を通して、製作品の設計や基本的な知識と技術について学ぶ。
 - ・計画を立て、設計・製作するために必要なものを考えましょう。
 - ・工具や機械の使い方を考えましょう。

4. 評価の観点

次の3つの観点から評価します。

評価の観点	観点の内容	評価の方法
①生活に関しての知識や技能	○製作に必要とされる基礎的・基本的な知識を身につけ、生活と技術のかかわりについて理解している。 ・自らの使用目的に応じた製作品の設計ができる。 ・製作に必要な工具を適切・安全に使用することができる。 ・製作品の構想表示の方法を理解している。 ・製作に必要な加工技術に関する知識を身につけ、工具の仕組みなどについて理解している。 ・技術と社会や環境との関わりについて理解している。	・製作品 ・学習プリント ・学習活動の観察 ・テスト
②生活を工夫して考え、思考し、判断、表現する能力	○生活や社会における技術に関わる問題を見出して課題を設定し、その解決を目指して、技術の評価、選択、管理・運用、改良、応用している。 ・習得した知識や技術を適切に活用する方法を考え出している。 ・製作品の使用条件や使用目的に応じて、自分なりの機能や構造が考え出されている。	・製作品 ・学習プリント ・学習活動の観察
③生活に関して主体的に学習に取り組む態度	○進んで技術と関わろうとするとともに、主体的に技術に関する知識・技能を身につけ、よりよい生活や持続可能な社会を構築するために適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしている。 ・生活に役立つものの製作を通して、製作品の構想に関心を持ち、意欲的な態度で製作をしようとしている。 ・加工技術に関心を持ち、目的や条件に応じて工具を適切に使用しようとしている。 ・製作を振り返り、今後の学習や生活に生かそうとしている。	・学習プリント ・自己評価 ・学習活動の観察

5. 家庭学習の仕方

- ・「どうしたら便利になるだろう、生活しやすくなるだろう」と普段の生活に興味関心をもって、生活しましょう。
- ・学んだ知識や技術を家庭や学校などの生活で生かしましょう。
(物が壊れたときに直してみる、など)

6. 年間学習予定

	学習内容	学習活動
1 学 期 ～ 2 学 期 前 半	1, 技術の発展と生活とのかかわりを考えよう。 2, 「生活に役立つもの」を製作しよう。 ①マルチラックを作ってみよう 3, 植物の栽培に取り組もう。	1 わたしたちの生活の中で利用されている技術を見つけて分析する 2 実習を通してそれぞれの技術と知識を身につける ●構想したものを図に表す(設計) ●材料に加工のための線にかく(けがき) ●材料を切ったり削ったりする(部品加工) ●組み立てる ●仕上げる 3 野菜を容器で栽培することで、作物の栽培の基礎的、基本的な技術と知識を身につける

2年 技術・家庭科(技術分野) シラバス

1. 中学校家庭科の目標

生活の営みに係わる見方・考え方
や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し、創造する資質・能力を育む。

2. 技術分野で重視することから

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、生物育成、エネルギー変換及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

3. 力を向上させる方法

- (1) エネルギー変換や生物育成に関する知識や技術について関心を持つ。
 - ・普段の生活の中に、どのように生かされているか見つけましょう。
 - ・どのようなところが便利になったのか考えてみましょう。
- (2) 課題に対して自分なりの解決方法を見つけだそう。
 - ・製作品をどのように作るのか、計画を立て、安全に製作しましょう。
 - ・修理や失敗したときにどのようにすれば良いか考えましょう。
- (3) 身の回りの生活に生かす方法を考えよう。
 - ・生活の中のどこに行かせるか考えましょう。

4. 評価の観点

次の3つの観点から評価します。

評価の観点	観点の内容	評価の方法
①生活に関しての知識や技能	○エネルギー利用に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、生活や産業の中で技術が果たしている役割について理解している。 ・自らの使用目的に応じた製作品の設計ができる。 ・製作品の調整や修正ができる。 ・加工の目的や材料に適した加工法に関する知識を身につけ、工具や機器の仕組みについて理解している。 ・電気エネルギーの変換内容や利用方法について理解している。	・製作品 ・学習プリント ・学習活動の観察 ・設計図 ・テスト
②生活を工夫して考え、思考し、判断、表現する能力	○自らの課題を解決するために、習得した知識や技術を適切に活用する方法を考え出している。 ・製作品の構想に発想の豊かさがみられる。 ・自らの課題を解決するために、独自の工夫や創造性を発揮している。 ・習得した知識や技術を適切に活用し、能率良く作業を進める方法を考え出している。	・製作品 ・学習プリント ・設計図 ・学習活動の観察
③生活に関して主体的に学習に取り組む態度	○製作を通して、エネルギーの変換や利用に関する知識や技術について関心を持ち、製作品の構想や製作に意欲的な態度で取り組んでいる。 ・加工技術に関心を持ち、目的や条件に応じて工具や機器を適切で安全にしようとしている。 ・製作品の調整や修正を的確に行おうとしている。 ・製作を振り返り、今後の学習や生活に生かそうとしている。	・製作品 ・学習プリント ・設計図 ・学習活動の観察

5. 家庭学習の仕方

- ・「どうしても便利になるだろう、生活しやすくなるだろう」と普段の生活に興味関心をもって、生活しましょう。
- ・学んだ知識や技術を家庭や学校などの生活で生かしましょう。
(電化製品が壊れたときなど、原因を考えてみましょう)

6. 年間学習予定

月	学習内容	学習活動
2 学 期 後 半 ～ 3 学 期	1. エネルギー変換について考えよう。 2. 電気エネルギーを利用したものを製作しよう。 3. 機械の仕組みを考えよう。	1 電気エネルギーを中心に、身の回りにある「エネルギーを利用しているもの」を見つけて分析する。 2 「LEDライト」を製作する。 3 「プチロボ」を製作する。

3年 技術・家庭科(技術分野) シラバス

1. 中学校家庭科の目標

生活の営みに係わる見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し、創造する資質・能力を育む。

2. 技術分野で重視することがら

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、生物育成、エネルギー変換及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

3. 力を向上させる方法

- (1) 習得した知識や技術を活用し、自らの課題を自分なりの方法で解決する。
 - ・なぜそのような仕組みになっているのかを理解し、解決方法を考えましょう。
- (2) 習得した知識や技術を活用し生活に生かそうとする。
 - ・生活の中で生かせる場所を考え、実行してみましょう。

4. 評価の観点

次の4つの観点から評価します。

評価の観点	観点の内容	評価の方法
①生活についての知識や技能	○目的に応じた簡単なプログラムを制作することができる。 ○コンピュータ技術の発達が生活様式や職場環境に与えた影響に関する知識を身に付けている ○ソフトの特徴と利用方法、データの種類や特徴について理解している。 ○情報化による影響をあげることができる。	・学習プリント ・テスト ・学習活動の観察
②生活を工夫して考え、思考し、判断、表現する能力	○目的をもってプログラムを制作しようとしている。 ○見る側がわかりやすいものにしようとしている。	・制作品 ・学習プリント ・テスト ・学習活動の観察
③生活に関して主体的に学習に取り組む態度	○生活や産業の中で利用されているコンピュータ等の情報機器や情報通信ネットワークが、生活や産業をどう変化させてきたのかについて調べようとしている。 ○必要な情報の選択をし、アプリケーションソフトの特性を生かした作品作りを心掛けている。	・制作品 ・学習活動の観察 ・学習プリント ・テスト

5. 家庭学習の仕方

- ・「どうしても便利になるだろう、生活しやすくなるだろう」と普段の生活に興味関心をもって、生活しましょう。
- ・学んだ知識や技術を家庭や学校などの生活で生かしましょう。
(より良い情報化社会を考えてみましょう。)

6. 年間学習予定

月	学習内容	学習活動
4 7 10 12	1、生活や産業の中で情報手段の果たしている役割について理解しよう。 2、ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングで、問題を解決しよう。 3、計測・制御システムを考えよう。	●情報手段の特徴や生活とコンピュータとのかかわりについてまとめる。 ●情報モラルについて考える。 ●プログラムを制作、制御する。